

小規模企業景気動向調査

[平成26年10月期調査]

～業種により動きにばらつきがあるものの、全体では悪化が続く小規模企業景況～

2014年11月26日
全国商工会連合会

<調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2014年10月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

<産業全体> ◇…業種により動きにばらつきがあるものの、全体では悪化が続く小規模企業景況…◇

10月期の小規模企業景気動向調査では、産業全体の売上額および採算DI(景気動向指数・前年同月比)はわずかに改善したものの、業況DIはわずかに悪化し、資金繰りDIは不変であった。業況DIは、3か月続けて悪化を示した。経営指導員から、夏場以降の消費マインドの一層の落ち込み、原材料費の高騰などの影響から、地方の景気は低迷を続けているとの報告が寄せられている。

<製造業> ◇…機械・金属関連で受注が好調だが、コスト高が足かせとなっている製造業…◇

製造業は、採算、資金繰りおよび業況DIはわずかに改善したものの、売上額DIはわずかに悪化した。経営指導員から、悪化材料としては、全般で、原材料費が引き続き上昇しており、採算が悪化しているとの報告があった。また、好転材料としては、自動車関連や機械部品、電子部品関連などで受注が好調であったとの報告があった。

<建設業> ◇…建設資材価格の高止まり、人手不足によるコスト高などで悪化に転じた建設業…◇

建設業は、採算および業況DIは大幅に悪化、また、売上額および資金繰りDIは小幅に悪化した。経営指導員から、悪化材料としては、①依然、人手不足が継続しており、受注機会を逃し、売上額が減少した、また、工期が遅れ、収益が圧迫されている、②建設資材、生コン等の価格が上昇しているなどの報告があった。また、好転材料としては、住宅リフォームや公共工事の受注が増加しているとの報告があった。

<小売業> ◇…個人消費の落ち込みや競合店の進出などの影響で、依然厳しさが続く小売業…◇

小売業は、売上額および採算DIはわずかに改善したものの、資金繰りDIはわずかに悪化し、業況DIは不変であった。経営指導員から、好転材料としては、衣料品関連で、気温の低下に伴い、秋冬物に動きが見られたとの報告があった。また、悪化材料としては、①消費増税による個人消費の落ち込みは予想以上で、厳しい家計消費は市内の大型小売店や専門店へと集中する傾向にあり、管内の小規模小売業者は軒並み厳しい、②食品関連で、ドラッグストアや大手スーパーなど競合店の進出により客数が減少、また、価格競争も激しく売上額が減少しているなどの報告があった。

<サービス業> ◇…秋の行楽シーズンを迎え、宿泊、観光関連が好調、改善を示したサービス業…◇

サービス業は、採算、資金繰りおよび業況DIは多少改善、また、売上額DIは大幅に改善した。経営指導員から、好転材料としては、①宿泊、観光関連で、紅葉など秋の行楽シーズンに入り、観光客が増加した、②宿泊関連で、一部地域で、工事作業員の長期滞在により堅調であったなどの報告があった。また、悪化材料としては、①理美容業で、低価格店に顧客が流出し、売上額が減少した、②消費マインドの低下により、支出を控える傾向から売上額が減少しているなどの報告があった。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	9月	10月	前月比	9月	10月	前月比	9月	10月	前月比
売上額	▲ 21.2	▲ 19.8	1.4	▲ 12.7	▲ 13.5	▲ 0.8	▲ 1.0	▲ 3.6	▲ 2.6
採算	▲ 30.7	▲ 30.2	0.5	▲ 28.1	▲ 26.7	1.4	▲ 18.3	▲ 23.7	▲ 5.4
資金繰り	▲ 23.2	▲ 23.4	▲ 0.2	▲ 21.7	▲ 19.9	1.8	▲ 13.3	▲ 15.9	▲ 2.6
業況	▲ 27.0	▲ 27.5	▲ 0.5	▲ 25.5	▲ 24.5	1.0	▲ 5.4	▲ 11.9	▲ 6.5

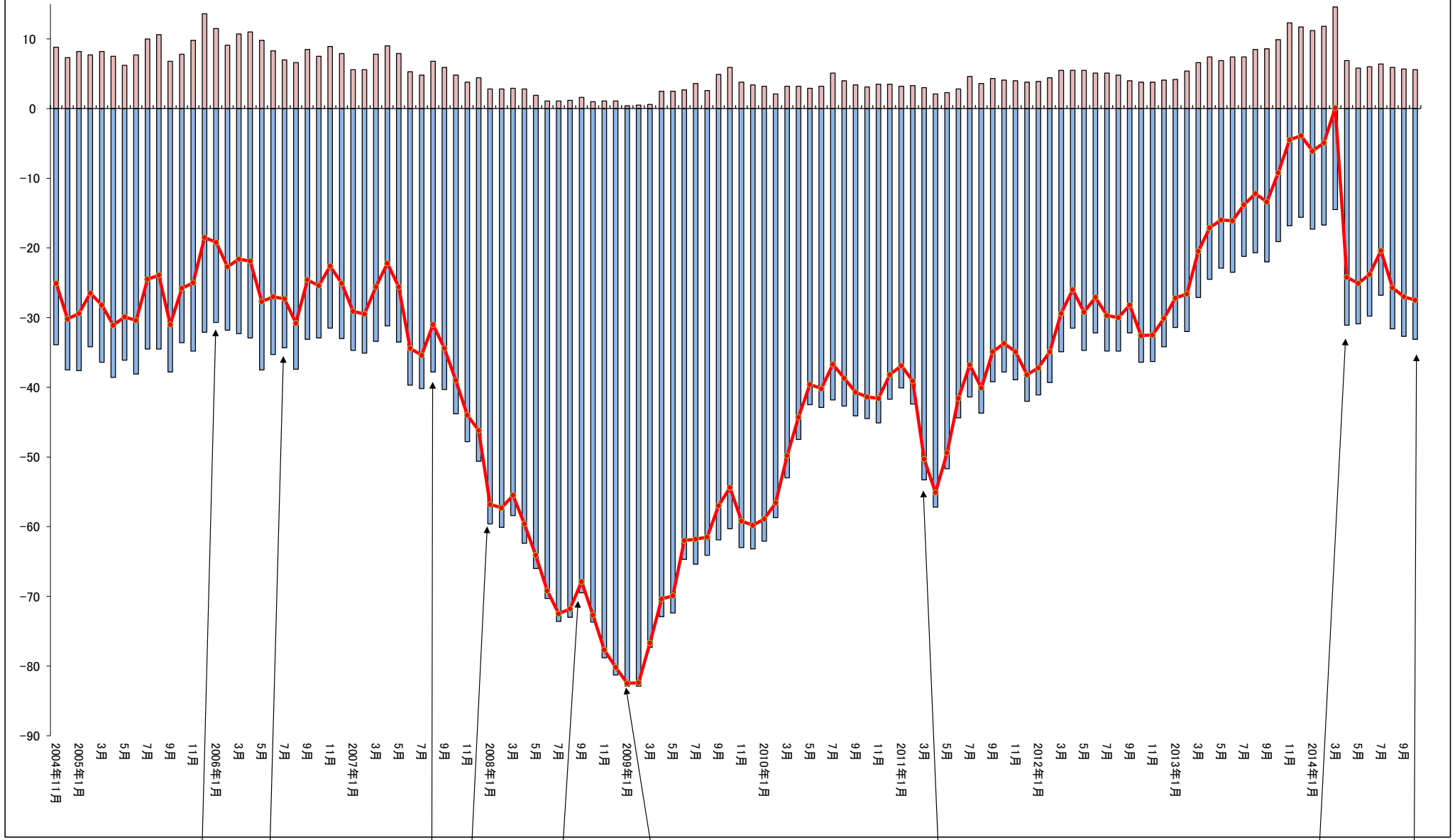
業種	小売業			サービス業		
	9月	10月	前月比	9月	10月	前月比
売上額	▲ 41.8	▲ 40.2	1.6	▲ 29.1	▲ 21.9	7.2
採算	▲ 44.2	▲ 42.6	1.6	▲ 32.3	▲ 28.0	4.3
資金繰り	▲ 34.3	▲ 35.7	▲ 1.4	▲ 23.5	▲ 22.1	1.4
業況	▲ 46.2	▲ 46.3	▲ 0.1	▲ 30.8	▲ 27.5	3.3

注) DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

小規模企業景気動向調査(月次)

産業全体の業況…過去10年のトレンド…

■ 悪化
■ 好転
● DI



06年01月16日 ライブドア強制捜査	06年7月14日 日銀ゼロ金利政策解除	07年8月9日 BNPパリバ、傘下の3ファンドの償還を一時凍結	08年1月2日 NY原油先物初の100ドル突破	08年09月15日 リーマン破産法適用申請	09年1月 調査開始以来最低数値(-82.5)記録	11年3月 東日本大震災	14年4月 消費税率8%に引上げ	14年/10月 -27.5
------------------------	------------------------	------------------------------------	----------------------------	--------------------------	------------------------------	-----------------	---------------------	--------------------------

小規模企業景気動向調査(10月期)における商工会経営指導員の主なコメント

*コメントについては、経営指導員回答の原文を掲載。

1. 景気全般

<改善傾向を示すコメント>

・土木関連の建設業は景気が上向いてきている。

(長崎県対馬市商工会)

・地域内で創業が2件相次ぐなど、回復の兆しが見えている気がする。

(岐阜県中津川北商工会)

・製造業、非製造業に関わらず、全体的に緩やかであるが持ち直しの動きが続いている。

(香川県さぬき市商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・消費増税の影響が出てきており、若干、景気が後退したように感じられる。

(兵庫県太子町商工会)

・依然として地域経済は停滞気味であり、景気浮揚につながる大きな要素は見当たらない。

(長崎県琴海商工会)

・9月から10月にかけて、消費者の購買意欲が減退している感がある。小売店等の売上高が伸び悩んでいる。

(山形県小国町商工会)

・仕入価格の上昇に伴い収益が圧迫され、消費増税以降、受注・売上の回復が遅れている。消費者の買い控えや低価格志向の強まりから、個人消費は力強さを欠いている。

(埼玉県鳩山町商工会)

・業種全般で原材料等価格の高騰を訴える声が聞かれる。

(東京都調布市商工会)

2. 製造業

<改善傾向を示すコメント>

・電子部品関連は、スマートフォン等の売上が好調であることから堅調に推移している。

(秋田県よこて市商工会)

・金属部品加工業は、大型機械メーカーの販売が好調。下請けの部品製造加工業も引き続き忙しい状況にある。

(福島県大東商工会)

・自動車関連は輸出好調で受注増加。

(群馬県高崎市榛名商工会)

・IT関連の製造業は、少しずつ回復傾向にあるようである。また、自動車関連の車載LEDの製造が好調のようである。

(鹿児島県日置市商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・食品関連は円安の影響で原材料費が高騰し、利益が減少傾向である。

(新潟県小国町商工会)

・水産加工品製造業は、原料調達難や燃油・電気料高騰のため、稼働率の低下や採算性の悪化がみられる。

(青森県大畑町商工会)

・繊維製造業は、燃料等各種経費の値上げにより、利益増加が難しくなっている。

(岐阜県山県市商工会)

3. 建設業

<改善傾向を示すコメント>

・災害復興工事により好況

(山口県山口県央商工会)

・公共工事では大手ゼネコンなどが堅調なようで、下請けの企業によっては売上が上昇している企業もある。

(広島県呉広域商工会)

・建築関係は、リフォーム需要や公共工事などで好況に思われる。

(北海道乙部町商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・建設資材、生コン等の価格が上昇している。

(三重県紀宝町商工会)

・公共工事を主としている業者を中心に強い不況感が広がっている。

(静岡県蒲原商工会)

・消費増税前の駆け込みで受注したが、下請けや職人が足りないため、工事が遅れ、経費を圧迫、採算が悪くなっている。

(沖縄県中城村商工会)

・受注量は増えているが、それを受けるだけの人材(職人)が確保できない状況となっている。

(岡山県阿哲商工会)

4. 小売業

<改善傾向を示すコメント>

・衣料品関連は、急な冷え込みで秋冬物が早めに動き出したようである。

(佐賀県神崎市商工会)

- ・中心市街地の大型店がリニューアルオープンしたため活況を呈しており、景況感が上昇している。
(長野県阿智村商工会)

＜悪化傾向を示すコメント＞

- ・消費増税による個人消費の落ち込みは予想以上で、厳しい家計消費は市内の大型小売店や専門店へと集中する傾向にあり、管内の小規模零細小売事業者は軒並み厳しい業況。
(島根県出雲商工会)
- ・食料品関係は、同業他社の進出による競争激化により売上が減少している。
(群馬県群馬伊勢崎商工会)
- ・地域の食料品小売業は、食品スーパー等への顧客流出により売上が減少傾向にある。
(富山県高岡市商工会)
- ・個人消費が落ちているため、全体的に売上減少傾向が続いている。1事業者毎の努力で解決できない状況が続いており、事業主の高齢化も進んで来ているため、経営意欲が減退している。
(山形県小国町商工会)
- ・家電関連の小売業は、景気低迷の影響で、売上は減少傾向にある。
(長崎県対馬市商工会)

5. サービス業

＜改善傾向を示すコメント＞

- ・旅館関連のサービス業は、これから紅葉の時期のため、予約状況が良くなっている。
(大分県九重町商工会)
- ・旅館については、新幹線の工事作業員等が宿泊しており安定している状況である。
(青森県外ヶ浜町商工会)
- ・行楽シーズンに突入し、遊漁(釣り船)客の宿泊が増加している。
(山口県大島商工会)
- ・介護福祉サービス業は、事業規模を拡大する事業者が多い。
(愛媛県鬼北町商工会)

＜悪化傾向を示すコメント＞

- ・理美容業関連のサービス業は、低価格店舗との競合により客数が減少している。
(佐賀県神崎市商工会)
- ・消費マインドの落ち込みが売上の悪化を招いている。また、サービスを受ける回数の減少などが目立つようになってきている。
(宮城県栗原南部商工会)
- ・洗濯業関連は、洗剤等の高品質化や、衣類の丸洗いが可能なようなファストファッションの影響から、売上は減少の一途を辿っており、厳しさが露呈している。
(秋田県白神八峰商工会)
- ・飲食関連では、原材料価格の高騰により利益確保に苦慮している事業所が増加している。
(栃木県野木町商工会)